

平成28年 第5回伊那地域協議会会議録

開催日	平成28年9月26日(月)								
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後8時15分			
開催場所	伊那市役所 5階 501・502会議室								
委員の出欠 出席26名 欠席13名		委員氏名			委員氏名			委員氏名	
	1	板倉 倫顕	出	16	伊藤 和義	出	31	岩本 庄平	欠
	2	守屋 武夫	出	17	西澤 茂也	欠	32	高橋 陽子	出
	3	伊藤 仁	出	18	藤澤 香澄	欠	33	唐木 由美子	出
	4	久保村 友保	欠	19	若林 一雄	出	34	鈴木 優子	欠
	5	白鳥 始	出	20	池上 直樹	欠	35	平澤 澄穂	欠
	6	細田 幸一	出	21	宮下 平治	欠	36	武田 登	出
	7	中村 初治	出	22	畑 英城	欠	37	平賀 裕子	出
	8	宮下 信一	出	23	中村 繁子	出	38	小林 正	出
	9	中村 隆幸	出	24	小林 旬子	欠	39	井口 清吾	出
	10	伊澤 芳人	出	25	向山 昌江	欠			
	11	有馬 久雄	出	26	中村 良一	出			
	12	酒井 秋雄	欠	27	小池 弥生	出			
	13	林 典男	出	28	増田 良平	出			
	14	米窪 砂男	出	29	細田 勇次	出			
15	平澤 徹	出	30	武田 禎祐	欠				
署名委員	林 典男			米窪 砂男					
条例第10条の規定により出席した者	なし								
市側の出席者	なし								
出席した事務局職員	地域創造課長 宮原 貴敏 地域振興係長 飯島 勝 地域振興係 橋爪 智美								
議 事	協議事項 (1) 市町村合併に関する意見について (2) 小グループによる検討								
配布資料	資料 No.1 市町村合併に関する意見 資料 No.2 グループ討議まとめ								

1 開会

有馬副会長により、定刻に開会する。

(欠席の報告)

2 あいさつ (会長より)

グループ討議ではそろそろまとめをしていただくことになるが、本日の会議でまとまらなければ、グループだけの会合も視野に置いて、まとめをお願いしたい。

3 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に13番 林 典男委員、14番 米窪 砂男委員を指名する。

4 報告

(1) 市町村合併に関する意見について

(事務局)

市町村合併に関する意見について説明。

(会長)

ただいま報告のあった意見を協議会の意見として、9月29日の懇談資料としたい。この意見は皆さんから出していただいたものをまとめたものなので、改めて意見をいただくことはしないが、参考に確認いただきたい。

5 協議

(1) 小グループによる検討

(事務局)

本日のグループ討議だが、スケジュールとしては討議内容をまとめることとなっているので、まとめのための資料を用意した。まずテーマと課題それからあるべき姿をこれまで討議してきた中で書いて、右のページに解決策と提言ということで、住民が主体となることができること、住民と行政が協働してできること、行政がやるべきことという視点で解決策を検討していただきたい。グループの記録係の席に提出用の用紙を用意してあるので、記入して提出いただければと思う。まだまとまらないグループに関しては、次回開催を11月に予定しているので、それまでの間に集まって話す機会を作っていただければと思う。事務局にご相談いただければ会議室や開催の通知・連絡をとるので、本日の話し合いの進み具合でご相談いただきたい。これからグループに分かれて討議をしてもらった後、今日の結果をグループごとに発表していただきたい。

<グループによる検討>

<グループによる検討結果発表>

(グループ1) 「自治会と行政の事業年度統一について」

行政と地区で年度を合わせようというものだが、アンケート等の結果や既の実施している駒ヶ根市の結果もいただいて討議し、様々な意見が出された。その中で伊那地区としては整合性を持たせて自治会の事業年度を4月から3月に変えた方がいいという結論になった。まとめとして、課題・あるべき姿は、伊那地区としては行政と会計年度が連動して統一していることが望ましく、任期、会計期間を統一することにより行政ともコミュニケーションが取り易くなる。実施年度については平成31年の4月からとし、3年後を目途に実施を提言したい。解決策・提言(1) 地域住民が主体となることができることとしては、実施するということを告知し、例えば伊那地区としては、31年から実施することを告知して地域の方に周知徹底し準備していくこと。役員会や区長会またはブロック会等で積極的な声かけ協力体制を作っていくこと。(2) の地域住民と行政が協働してできることとしては、規約等の変更を実施すること。(3) の行政がやるべきこととしては、行政側から見ての地域のメリットを提示すること。移行にあたって各地区様々な疑問等あるので、ガイドライン、移行の手引き等の作成をすること。

前回からの引き続きの話し合いで、メリット・デメリットがあるが、デメリットの主なものは当初の苦労だけで、運営していくには年度が統一されるのは良いことではないかという意見が出ている。現在、各区長さんに年度の統一についてアンケートを出しているようで、近日中に集計がまとまると思う。そのアンケートで賛成できない理由も記載するようになっているので、どんなデメリットがあるのか確認したい。賛成される方、どちらでも良いという方が多いようだが、反対している方の意見も確認したいので、集計の結果を待ちたい。駒ヶ根市は既に年度が統一されているようだが、それがどのような経過を追ってどのようにして進められたものなのか聞きたい。また、年度を統一する当初は期間を3か月間延ばすことになるわけだが、各区においては多少費用がかかるようになってくる。それをどのようにしていくかも今後の検討課題となってくる。とりあえずはアンケートの結果を見て、駒ヶ根市にどんな進め方をしたか確認し、参考にしながら進めていきたい。

(グループ2) 「自治会への加入促進について」

2班は自治会への加入促進について検討した。課題・あるべき姿は、昨今自治会等へ加入しない方が増えている中で、住んでいる周辺についても多様な問題が出てきており、自治会または市から委託をされている自治会も含めて自治会へ加入しない方が非常に多くなっている。また併せて、大災害等に対応した内容で行政からお願いをしても、伊那市の地域性もあるのか、迅速に救援活動できない等々あり、まずはこの地域の住民の方が協力し合って、共助・助け合うということが一番大きな課題になるので、この辺を自治会への加入の大きな目的にしたらどうかと思う。その中で、特に課題となっているのが、新たに

入ってきた方、特にアパートやマンションの入居者の加入が大きな課題となっているので、この辺も含めて課題でお願いしたい。

内容として自治会でやるべきことは、まず自治会の中で積極的に加入促進を進めていたきたいということで、区の3役、あるいは町内会長、組長等を中心に加入促進を推進していく。併せて、各地域の自治体よりを活用して、自治会への未加入者についても情報発信をし、可能な限り入会を勧誘していくことが大事なことである。それから、区の役員等に出される抵抗感もあるので、高齢者や子育て世帯には役員の免除や役員の選出方法の見直し等も、自治会として検討しなければいけないし、年金等だけで生活しており区費が払えない方には、そのために区をやめるのではなく、減免制度等を検討し区に残っていたくることが必要ではないか。

行政と区が協働してやるべきことは、市に聞いたところ、実態調査というようなものはない状況なので、自治体活動に対する市民の意識調査をする必要があるのではないかと。これについては市と自治会が協働してやる必要がある。また、区長会あるいは行政とタイアップした事業展開が必要だと思う。

市へお願いだが、新たに転入されてくる方は必ず事務申請手続き等々で市の窓口へくるので、窓口で加入促進の呼びかけを是非していただきたい。昨年作成した地域の教科書も活用して加入促進の呼びかけをお願いしたい。併せて自治会の加入促進についてマニュアルを作り、各自治会が歩調を合わせてできるようなことを考えていただきたい。加入促進のためにパンフレット等を作った場合の助成等もお願いしたい。

また、企業あるいは商工会議所等団体があるわけだが、ここに勤めている職員の自治会への参加、あるいは地区の役員等の選出についても是非ご協力をいただきたいということで、これについては地域貢献という立場の中で企業評価もしていただくようなことも考えていただけないかと思う。また、不動産関係あるいはアパート等のオーナーの方へ、入居条件として加えていただくような要請もしていただければと思う。更に自治会の加入促進をするための条例が全国でもいくつかの市町村で設定されているので、是非伊那市についても条例化できればと思う。もう一つ、自治会を行う中で話題になったのは、大人と子供の交流や三世代交流とかが非常に欠けてきているということで、この辺もまた新たな活動として取り入れて、人間関係が密接になるような取り組みを今後していったらどうかと思う。細かい点については、後ほど報告させていただく。

(グループ3) 「竜東北部における公共施設の建設要望について」

竜東北部における公共施設の建設要望について、調べてみると要望が出されていた。それは伊那北小学校が行事等に体育館を使うのに大変児童数が増えて手狭になってきたので、伊那北小敷地内にもう一つ新しい体育館が欲しいという要望だと分かった。今年の現状はどうなのかというところなのだが、児童数は要望があったころよりも約90名減少しており、これからも少しずつ減っていく傾向にあると思われる。それから、現在、住民からの要望はあまり強く出されていないことから、現状は変わってきているので、要望に関しては白紙撤回しようというのが前回の結論であった。そこで、それでは、他に竜東北部

において何か必要な公共施設はないのかということで、今日から話し合ったわけだが、東部中学校は県下でも1・2位を争うマンモス校で大変生徒数が多い。ところが、運動施設などは大変手狭で、あちこちに分散している状態である。災害における避難施設としても竜東北部に公共施設は必要である。伊那市の西部には様々な施設があるのだが、竜東北部地区にはないので、何らかの施設が必要ではないか。東部中学校の現状を考えたとき、体育館といった施設を建設することが、急務な課題ではないかということになった。建設の実現に向けては、PTAや住民が一緒になって竜東北部全体の要望として盛り上げていくことが大切だと思う。竜東地区選出の市議会議員は少ないので、市議会議員全体の理解も得ていくことが実現に向けていくためには極めて重要であるというところまで、話し合われた。これからの考える方向が決めだされたので、これからはもう少し具体的な方策まで話し合っていければいいと思う。

(グループ4) 「中心市街地活性化について」

4班は中心市街地活性化についてということで話し合いをしており、前回から引き続き様々な意見が出ていて、駅前に観光所があると良い、マップを制作してみてもどうか、交通の便がよくなると活性化につながるのではないかな等の意見がでてきている。結局、街づくりにおいて情報を発信する場がないということで、観光センターを含めた情報をまとめて発信する場があればいいのではないかと話し合いの方向性が見えてきた。子供が集える場所、年配者が気軽に集える場所、ゲストハウスなど、一緒になった場があればよいのではないかと話し合っており、まだまだ具体的には煮詰まっていないので、10月にもう一度集まって、方向性を更に具体化していきたいと思う。

(会長)

お聞きいただいたような、各班の状況である。随分進んで、ある程度まとめにいきつつある班もあるし、まだまだこれから考えなければならぬという班もあって、実情が分かってよかったと思う。もしグループによってグループ会を開かなければならぬのであれば、事務局へ連絡して場所や時間の確保をしてもらいたいと思う。何か質問・意見はありますか。

前年度の課題についての検討は、本日で終わりというスケジュールになっているので、まとめていただき提出いただきたい。

(事務局)

今、聞くと3班4班は更にグループ協議を深めていただけるというように受け取った。そうすると、10月くらいにまた集まっていただくとということになると思う。事務局と相談いただきながら、日程の設定をお願いできればと思う。そこを受けて、それぞれ各班からいただいたまとめの用紙を、事務局で提言書にまとめて、全体の地域協議会で確認し、最終的に市長への提言としたい。ご理解をお願いしたい。

4 その他

(事務局)

3市町村が合併し新「伊那市」が誕生して10年が経過をした。10周年を記念して、地域自治区内に記念植樹をしてほしいという依頼がある。

(会長)

今話があったように、新「伊那市」誕生10周年を記念して植樹をということであるが、具体的には各区と各地域自治区へ一本ずつ桜の苗木が配付される。植樹には場所、植樹する日、植樹する人を決める必要があるが、40人近い方が集まるのは大変なので、3役正副会長と事務局にお任せいただいて、場所は市役所がいいのではないかと考えている。

異議なし

(会長)

植樹後、報告する。

(事務局)

冒頭次回開催は、11月という話をした。グループの3班4班の討議が終わって、それを受けてまとめる中で、また正副会長さんとも相談しながら、次回の会議を設定をさせていただきたい。

6 閉会

(副会長)

長時間にわたり検討していただき、ありがとうございます。以上をもって、本日の第5回の会議を閉会する。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

平成28年9月26日

平成28年度 第5回伊那地域協議会 会議録

会 長 _____

会議録署名人 _____

会議録署名人 _____